



野村の柳生出身、去る七日の大別山の攻戦に活躍、名譽の戦死をなせる十四日實家に公電する、留守宅には母さち(左)さんといふ子(右)さんだけの女ばかりの家庭に協力して農業を営んでゐる

テック、ガールのデに濁を打つと嫌な話になるが其のなかのちやない可符を賣る女だ、テックトを説つてテックと云ふからテックトガールを其う呼ぶ、テックトウインドーは出札口

座いました、早速御返事申上様と思ひました。が何しろ先月来から瀬繁な異動で種々都合有之思ひ乍御無音致ました、何卒不意御諒願申上、去る十月〇日新任地に赴きました、二套口と云ふ所、九江の一里半程、流の向側です、何せ第一線とも程離れた距離なので、残敵も相當居るらしく、油断を許せません、遠近に聞ゆる銃聲、聞かなく小股を打ます、爆弾の音響物、物部第一線部隊の活躍を物部るものが御座います、愈上文字通の長期抗戦です、今後如何に戦局が展開するやも計り知る能はざるもの、極です、之が解決を見るには相當の月日を要するものと想像されます、最近戦後の活動は大なる進展にて私達も一層心強く、奮闘を続け、事が出来ず、緊要々々では是が貫徹に邁進する決心です、一層の御心添えを御願申上、一日も早く、暴將を打倒東亞の新樂土を建設して、銃後一億の人々が喜び合ひ國柱となられし數多將士の英靈を御慰めたいも、御座います、何時か冷気身に覺ゆる秋、季節の變り目に種々の病狀の手も伸びる事です、何卒御休御大事になされる様御祈申上、御傳ひ申度ことも多々あり、御傳ひ共、恐しい事は何れも生還が出来れば御面接の上申上、くる事に致す、御一同様に宜敷御傳言御願申上、また、亂筆にて御無音の御詫、を兼ね御返事まで早々(九月十四日)

者の指導に當つてゐたが、明後十八日平野發午後零時四十九分、發着修業のため上京當分小石川區八千代町三三三井定次郎氏方假住の由

郷土部隊慰問の 平から三名参加 中支戦線に活躍中の郷土部隊慰問の郷土藝術團は、十五日一行十名の入選を決して、福島市外阿部清月(天)師を團長に、今月下旬宮城、新潟、山形、秋田、岩手、青森、各県を巡回し、戦線に於ける隊員の慰問、及、戦後復興の啓蒙を主眼として、約一ヶ月半の遠征で、平市から左記三名が選ばれた。 田町草刈きく子(三)同町宮下八重子(三)同町中島湖州(三)以上

石城産馬組合の 傳貧巡回検診 明十六日から 石城産馬組合第四回傳貧巡回検診は、三森技手により左記日割で行はれる。 十六日入道野上根本一 〇頭 十七日同入道野上 〇頭 十八日同入道野上 〇頭 十九日上道野村上道野 根岸 深山田一〇 二十日 同前 一五五 二十一日 警備村藤原六二 二十二日 田人 出旅人一六〇 二十四日 同 黒田一〇 二十五日 同 大平 入旅人六四 二十六日 日荷路夫村一四一 〇二 十七日貝泊村貝泊 戸草六 一 二十八日石住村一四 貝泊 藤平三五 二十九日 上小川村横川 内倉四五 三十日同戸渡四五 三十一日 七日箕輪村大和 柳小屋五 〇 八日同高野一四五 九 日永戸村合戸 渡戸一〇 十日同上永井 下永井一 九 十一日澤渡村下市一 一〇 十二日同上市一 寺五九 十四日三坂村差懸 六一 十五日同下三坂一〇 〇 十六日同中三坂一〇 〇 十七日同上三坂一〇 〇 十八 日川前村上桶賣 下桶賣 五味澤 山下谷 芋島一 五 十九日同高部 外門 川前 志田名一〇 二十 日同小井六〇 計二四一 八頭

玉川村の宣誓式 石城郡玉川村が昨年經濟更生指定村となり、計畫準備中であつたが、明十七日午前十時同村小學校に於て、君島知事、同村小學校に於て宣誓式、祈願祭を執行した。

鐵配給が來なくて 着工出來ない暗渠

本市本町南町と南町の間を流れる愛宕江分流の溝渠暗渠化第一期工事の西部の暗渠に、見事な出來榮えを喜ばれて、第二期工事施行を受益者關係が待たれてゐる同施行區の路幅は現在の開渠を包んで三間を下らサルトも申分がないので、西部以上の出來榮えを見込まれてゐるが、市の土木課では同工事所要の鐵筋約三噸六

馬目伍長の 平市葬 十九日第三校で 名譽の戦死を遂げた平市二丁目馬目英三郎伍長の市葬は、来る十九日午後一時第三小學校講堂に於て執行された。

郷土部隊慰問の 平から三名参加 中支戦線に活躍中の郷土部隊慰問の郷土藝術團は、十五日一行十名の入選を決して、福島市外阿部清月(天)師を團長に、今月下旬宮城、新潟、山形、秋田、岩手、青森、各県を巡回し、戦線に於ける隊員の慰問、及、戦後復興の啓蒙を主眼として、約一ヶ月半の遠征で、平市から左記三名が選ばれた。 田町草刈きく子(三)同町宮下八重子(三)同町中島湖州(三)以上

石城産馬組合の 傳貧巡回検診 明十六日から 石城産馬組合第四回傳貧巡回検診は、三森技手により左記日割で行はれる。 十六日入道野上根本一 〇頭 十七日同入道野上 〇頭 十八日同入道野上 〇頭 十九日上道野村上道野 根岸 深山田一〇 二十日 同前 一五五 二十一日 警備村藤原六二 二十二日 田人 出旅人一六〇 二十四日 同 黒田一〇 二十五日 同 大平 入旅人六四 二十六日 日荷路夫村一四一 〇二 十七日貝泊村貝泊 戸草六 一 二十八日石住村一四 貝泊 藤平三五 二十九日 上小川村横川 内倉四五 三十日同戸渡四五 三十一日 七日箕輪村大和 柳小屋五 〇 八日同高野一四五 九 日永戸村合戸 渡戸一〇 十日同上永井 下永井一 九 十一日澤渡村下市一 一〇 十二日同上市一 寺五九 十四日三坂村差懸 六一 十五日同下三坂一〇 〇 十六日同中三坂一〇 〇 十七日同上三坂一〇 〇 十八 日川前村上桶賣 下桶賣 五味澤 山下谷 芋島一 五 十九日同高部 外門 川前 志田名一〇 二十 日同小井六〇 計二四一 八頭

玉川村の宣誓式 石城郡玉川村が昨年經濟更生指定村となり、計畫準備中であつたが、明十七日午前十時同村小學校に於て、君島知事、同村小學校に於て宣誓式、祈願祭を執行した。

經更村の宣誓式 石城郡川前村では經濟更生の指定を受け、愈上本格的の事業に着手の當であるが、今十六日午前十時、君島知事、同村小學校に於て宣誓式、祈願祭を執行した。

本町と南町間の道路化

本市本町南町と南町の間を流れる愛宕江分流の溝渠暗渠化第一期工事の西部の暗渠に、見事な出來榮えを喜ばれて、第二期工事施行を受益者關係が待たれてゐる同施行區の路幅は現在の開渠を包んで三間を下らサルトも申分がないので、西部以上の出來榮えを見込まれてゐるが、市の土木課では同工事所要の鐵筋約三噸六

郷土部隊慰問の 平から三名参加 中支戦線に活躍中の郷土部隊慰問の郷土藝術團は、十五日一行十名の入選を決して、福島市外阿部清月(天)師を團長に、今月下旬宮城、新潟、山形、秋田、岩手、青森、各県を巡回し、戦線に於ける隊員の慰問、及、戦後復興の啓蒙を主眼として、約一ヶ月半の遠征で、平市から左記三名が選ばれた。 田町草刈きく子(三)同町宮下八重子(三)同町中島湖州(三)以上

石城産馬組合の 傳貧巡回検診 明十六日から 石城産馬組合第四回傳貧巡回検診は、三森技手により左記日割で行はれる。 十六日入道野上根本一 〇頭 十七日同入道野上 〇頭 十八日同入道野上 〇頭 十九日上道野村上道野 根岸 深山田一〇 二十日 同前 一五五 二十一日 警備村藤原六二 二十二日 田人 出旅人一六〇 二十四日 同 黒田一〇 二十五日 同 大平 入旅人六四 二十六日 日荷路夫村一四一 〇二 十七日貝泊村貝泊 戸草六 一 二十八日石住村一四 貝泊 藤平三五 二十九日 上小川村横川 内倉四五 三十日同戸渡四五 三十一日 七日箕輪村大和 柳小屋五 〇 八日同高野一四五 九 日永戸村合戸 渡戸一〇 十日同上永井 下永井一 九 十一日澤渡村下市一 一〇 十二日同上市一 寺五九 十四日三坂村差懸 六一 十五日同下三坂一〇 〇 十六日同中三坂一〇 〇 十七日同上三坂一〇 〇 十八 日川前村上桶賣 下桶賣 五味澤 山下谷 芋島一 五 十九日同高部 外門 川前 志田名一〇 二十 日同小井六〇 計二四一 八頭

玉川村の宣誓式 石城郡玉川村が昨年經濟更生指定村となり、計畫準備中であつたが、明十七日午前十時同村小學校に於て、君島知事、同村小學校に於て宣誓式、祈願祭を執行した。

經更村の宣誓式 石城郡川前村では經濟更生の指定を受け、愈上本格的の事業に着手の當であるが、今十六日午前十時、君島知事、同村小學校に於て宣誓式、祈願祭を執行した。

玉川村の宣誓式 石城郡玉川村が昨年經濟更生指定村となり、計畫準備中であつたが、明十七日午前十時同村小學校に於て、君島知事、同村小學校に於て宣誓式、祈願祭を執行した。

鮫川堰議員選舉 殆んど無競争

石城郡鮫川堰の水利議員は既報の如く昨十五日、濱濱係上遠野、植田、渡邊、玉川、泉小名濱一町四ヶ村一齊に行はれたが、各町村共に時局柄の考慮から殆んど無競争であつた。爲め棄権者多し、投票者總數一四〇七名に對して投票者半數に満たず、願する平穩でもつて左記當選を決したが、定員二十四名の中新頭六名で十八名が再選された。

郷土部隊慰問の 平から三名参加 中支戦線に活躍中の郷土部隊慰問の郷土藝術團は、十五日一行十名の入選を決して、福島市外阿部清月(天)師を團長に、今月下旬宮城、新潟、山形、秋田、岩手、青森、各県を巡回し、戦線に於ける隊員の慰問、及、戦後復興の啓蒙を主眼として、約一ヶ月半の遠征で、平市から左記三名が選ばれた。 田町草刈きく子(三)同町宮下八重子(三)同町中島湖州(三)以上

石城産馬組合の 傳貧巡回検診 明十六日から 石城産馬組合第四回傳貧巡回検診は、三森技手により左記日割で行はれる。 十六日入道野上根本一 〇頭 十七日同入道野上 〇頭 十八日同入道野上 〇頭 十九日上道野村上道野 根岸 深山田一〇 二十日 同前 一五五 二十一日 警備村藤原六二 二十二日 田人 出旅人一六〇 二十四日 同 黒田一〇 二十五日 同 大平 入旅人六四 二十六日 日荷路夫村一四一 〇二 十七日貝泊村貝泊 戸草六 一 二十八日石住村一四 貝泊 藤平三五 二十九日 上小川村横川 内倉四五 三十日同戸渡四五 三十一日 七日箕輪村大和 柳小屋五 〇 八日同高野一四五 九 日永戸村合戸 渡戸一〇 十日同上永井 下永井一 九 十一日澤渡村下市一 一〇 十二日同上市一 寺五九 十四日三坂村差懸 六一 十五日同下三坂一〇 〇 十六日同中三坂一〇 〇 十七日同上三坂一〇 〇 十八 日川前村上桶賣 下桶賣 五味澤 山下谷 芋島一 五 十九日同高部 外門 川前 志田名一〇 二十 日同小井六〇 計二四一 八頭

玉川村の宣誓式 石城郡玉川村が昨年經濟更生指定村となり、計畫準備中であつたが、明十七日午前十時同村小學校に於て、君島知事、同村小學校に於て宣誓式、祈願祭を執行した。

經更村の宣誓式 石城郡川前村では經濟更生の指定を受け、愈上本格的の事業に着手の當であるが、今十六日午前十時、君島知事、同村小學校に於て宣誓式、祈願祭を執行した。

玉川村の宣誓式 石城郡玉川村が昨年經濟更生指定村となり、計畫準備中であつたが、明十七日午前十時同村小學校に於て、君島知事、同村小學校に於て宣誓式、祈願祭を執行した。

定員廿四名に新顔六名

石城郡鮫川堰の水利議員は既報の如く昨十五日、濱濱係上遠野、植田、渡邊、玉川、泉小名濱一町四ヶ村一齊に行はれたが、各町村共に時局柄の考慮から殆んど無競争であつた。爲め棄権者多し、投票者總數一四〇七名に對して投票者半數に満たず、願する平穩でもつて左記當選を決したが、定員二十四名の中新頭六名で十八名が再選された。

郷土部隊慰問の 平から三名参加 中支戦線に活躍中の郷土部隊慰問の郷土藝術團は、十五日一行十名の入選を決して、福島市外阿部清月(天)師を團長に、今月下旬宮城、新潟、山形、秋田、岩手、青森、各県を巡回し、戦線に於ける隊員の慰問、及、戦後復興の啓蒙を主眼として、約一ヶ月半の遠征で、平市から左記三名が選ばれた。 田町草刈きく子(三)同町宮下八重子(三)同町中島湖州(三)以上

石城産馬組合の 傳貧巡回検診 明十六日から 石城産馬組合第四回傳貧巡回検診は、三森技手により左記日割で行はれる。 十六日入道野上根本一 〇頭 十七日同入道野上 〇頭 十八日同入道野上 〇頭 十九日上道野村上道野 根岸 深山田一〇 二十日 同前 一五五 二十一日 警備村藤原六二 二十二日 田人 出旅人一六〇 二十四日 同 黒田一〇 二十五日 同 大平 入旅人六四 二十六日 日荷路夫村一四一 〇二 十七日貝泊村貝泊 戸草六 一 二十八日石住村一四 貝泊 藤平三五 二十九日 上小川村横川 内倉四五 三十日同戸渡四五 三十一日 七日箕輪村大和 柳小屋五 〇 八日同高野一四五 九 日永戸村合戸 渡戸一〇 十日同上永井 下永井一 九 十一日澤渡村下市一 一〇 十二日同上市一 寺五九 十四日三坂村差懸 六一 十五日同下三坂一〇 〇 十六日同中三坂一〇 〇 十七日同上三坂一〇 〇 十八 日川前村上桶賣 下桶賣 五味澤 山下谷 芋島一 五 十九日同高部 外門 川前 志田名一〇 二十 日同小井六〇 計二四一 八頭

玉川村の宣誓式 石城郡玉川村が昨年經濟更生指定村となり、計畫準備中であつたが、明十七日午前十時同村小學校に於て、君島知事、同村小學校に於て宣誓式、祈願祭を執行した。

經更村の宣誓式 石城郡川前村では經濟更生の指定を受け、愈上本格的の事業に着手の當であるが、今十六日午前十時、君島知事、同村小學校に於て宣誓式、祈願祭を執行した。

玉川村の宣誓式 石城郡玉川村が昨年經濟更生指定村となり、計畫準備中であつたが、明十七日午前十時同村小學校に於て、君島知事、同村小學校に於て宣誓式、祈願祭を執行した。

戦地 殘敵相當に多く 少しも油断ならず

拜啓、初秋の候と相成、また皆様の益々御壯健にて、戦後の運動に御専念願、と、何れも心強く存じ

郷土部隊慰問の 平から三名参加 中支戦線に活躍中の郷土部隊慰問の郷土藝術團は、十五日一行十名の入選を決して、福島市外阿部清月(天)師を團長に、今月下旬宮城、新潟、山形、秋田、岩手、青森、各県を巡回し、戦線に於ける隊員の慰問、及、戦後復興の啓蒙を主眼として、約一ヶ月半の遠征で、平市から左記三名が選ばれた。 田町草刈きく子(三)同町宮下八重子(三)同町中島湖州(三)以上

石城産馬組合の 傳貧巡回検診 明十六日から 石城産馬組合第四回傳貧巡回検診は、三森技手により左記日割で行はれる。 十六日入道野上根本一 〇頭 十七日同入道野上 〇頭 十八日同入道野上 〇頭 十九日上道野村上道野 根岸 深山田一〇 二十日 同前 一五五 二十一日 警備村藤原六二 二十二日 田人 出旅人一六〇 二十四日 同 黒田一〇 二十五日 同 大平 入旅人六四 二十六日 日荷路夫村一四一 〇二 十七日貝泊村貝泊 戸草六 一 二十八日石住村一四 貝泊 藤平三五 二十九日 上小川村横川 内倉四五 三十日同戸渡四五 三十一日 七日箕輪村大和 柳小屋五 〇 八日同高野一四五 九 日永戸村合戸 渡戸一〇 十日同上永井 下永井一 九 十一日澤渡村下市一 一〇 十二日同上市一 寺五九 十四日三坂村差懸 六一 十五日同下三坂一〇 〇 十六日同中三坂一〇 〇 十七日同上三坂一〇 〇 十八 日川前村上桶賣 下桶賣 五味澤 山下谷 芋島一 五 十九日同高部 外門 川前 志田名一〇 二十 日同小井六〇 計二四一 八頭

玉川村の宣誓式 石城郡玉川村が昨年經濟更生指定村となり、計畫準備中であつたが、明十七日午前十時同村小學校に於て、君島知事、同村小學校に於て宣誓式、祈願祭を執行した。

經更村の宣誓式 石城郡川前村では經濟更生の指定を受け、愈上本格的の事業に着手の當であるが、今十六日午前十時、君島知事、同村小學校に於て宣誓式、祈願祭を執行した。

玉川村の宣誓式 石城郡玉川村が昨年經濟更生指定村となり、計畫準備中であつたが、明十七日午前十時同村小學校に於て、君島知事、同村小學校に於て宣誓式、祈願祭を執行した。

護國の華

石城出身の勇士、佐藤良一、佐藤、石城郡大

郷土部隊慰問の 平から三名参加 中支戦線に活躍中の郷土部隊慰問の郷土藝術團は、十五日一行十名の入選を決して、福島市外阿部清月(天)師を團長に、今月下旬宮城、新潟、山形、秋田、岩手、青森、各県を巡回し、戦線に於ける隊員の慰問、及、戦後復興の啓蒙を主眼として、約一ヶ月半の遠征で、平市から左記三名が選ばれた。 田町草刈きく子(三)同町宮下八重子(三)同町中島湖州(三)以上

石城産馬組合の 傳貧巡回検診 明十六日から 石城産馬組合第四回傳貧巡回検診は、三森技手により左記日割で行はれる。 十六日入道野上根本一 〇頭 十七日同入道野上 〇頭 十八日同入道野上 〇頭 十九日上道野村上道野 根岸 深山田一〇 二十日 同前 一五五 二十一日 警備村藤原六二 二十二日 田人 出旅人一六〇 二十四日 同 黒田一〇 二十五日 同 大平 入旅人六四 二十六日 日荷路夫村一四一 〇二 十七日貝泊村貝泊 戸草六 一 二十八日石住村一四 貝泊 藤平三五 二十九日 上小川村横川 内倉四五 三十日同戸渡四五 三十一日 七日箕輪村大和 柳小屋五 〇 八日同高野一四五 九 日永戸村合戸 渡戸一〇 十日同上永井 下永井一 九 十一日澤渡村下市一 一〇 十二日同上市一 寺五九 十四日三坂村差懸 六一 十五日同下三坂一〇 〇 十六日同中三坂一〇 〇 十七日同上三坂一〇 〇 十八 日川前村上桶賣 下桶賣 五味澤 山下谷 芋島一 五 十九日同高部 外門 川前 志田名一〇 二十 日同小井六〇 計二四一 八頭

玉川村の宣誓式 石城郡玉川村が昨年經濟更生指定村となり、計畫準備中であつたが、明十七日午前十時同村小學校に於て、君島知事、同村小學校に於て宣誓式、祈願祭を執行した。

經更村の宣誓式 石城郡川前村では經濟更生の指定を受け、愈上本格的の事業に着手の當であるが、今十六日午前十時、君島知事、同村小學校に於て宣誓式、祈願祭を執行した。

玉川村の宣誓式 石城郡玉川村が昨年經濟更生指定村となり、計畫準備中であつたが、明十七日午前十時同村小學校に於て、君島知事、同村小學校に於て宣誓式、祈願祭を執行した。

青果市況

小把葱(十把) 高値 安値 〇〇〇〇 〇〇〇〇 牛蒡(一貫) 〇〇〇〇 〇〇〇〇 人参(一貫) 〇〇〇〇 〇〇〇〇 里芋(一貫) 〇〇〇〇 〇〇〇〇 蓮蓬(十把) 〇〇〇〇 〇〇〇〇 馬鈴薯(一貫) 〇〇〇〇 〇〇〇〇 九大根(十本) 〇〇〇〇 〇〇〇〇 長大根(十本) 〇〇〇〇 〇〇〇〇 白(一貫) 〇〇〇〇 〇〇〇〇 甘(一貫) 〇〇〇〇 〇〇〇〇 柿(百ヶ) 〇〇〇〇 〇〇〇〇 柿(百ヶ) 〇〇〇〇 〇〇〇〇

郷土部隊慰問の 平から三名参加 中支戦線に活躍中の郷土部隊慰問の郷土藝術團は、十五日一行十名の入選を決して、福島市外阿部清月(天)師を團長に、今月下旬宮城、新潟、山形、秋田、岩手、青森、各県を巡回し、戦線に於ける隊員の慰問、及、戦後復興の啓蒙を主眼として、約一ヶ月半の遠征で、平市から左記三名が選ばれた。 田町草刈きく子(三)同町宮下八重子(三)同町中島湖州(三)以上

石城産馬組合の 傳貧巡回検診 明十六日から 石城産馬組合第四回傳貧巡回検診は、三森技手により左記日割で行はれる。 十六日入道野上根本一 〇頭 十七日同入道野上 〇頭 十八日同入道野上 〇頭 十九日上道野村上道野 根岸 深山田一〇 二十日 同前 一五五 二十一日 警備村藤原六二 二十二日 田人 出旅人一六〇 二十四日 同 黒田一〇 二十五日 同 大平 入旅人六四 二十六日 日荷路夫村一四一 〇二 十七日貝泊村貝泊 戸草六 一 二十八日石住村一四 貝泊 藤平三五 二十九日 上小川村横川 内倉四五 三十日同戸渡四五 三十一日 七日箕輪村大和 柳小屋五 〇 八日同高野一四五 九 日永戸村合戸 渡戸一〇 十日同上永井 下永井一 九 十一日澤渡村下市一 一〇 十二日同上市一 寺五九 十四日三坂村差懸 六一 十五日同下三坂一〇 〇 十六日同中三坂一〇 〇 十七日同上三坂一〇 〇 十八 日川前村上桶賣 下桶賣 五味澤 山下谷 芋島一 五 十九日同高部 外門 川前 志田名一〇 二十 日同小井六〇 計二四一 八頭

玉川村の宣誓式 石城郡玉川村が昨年經濟更生指定村となり、計畫準備中であつたが、明十七日午前十時同村小學校に於て、君島知事、同村小學校に於て宣誓式、祈願祭を執行した。

經更村の宣誓式 石城郡川前村では經濟更生の指定を受け、愈上本格的の事業に着手の當であるが、今十六日午前十時、君島知事、同村小學校に於て宣誓式、祈願祭を執行した。

玉川村の宣誓式 石城郡玉川村が昨年經濟更生指定村となり、計畫準備中であつたが、明十七日午前十時同村小學校に於て、君島知事、同村小學校に於て宣誓式、祈願祭を執行した。

産業方面

産業未設の 解消運動(三)

組合の運営に欲し
い車の軸になる人
同時にまた新設組合も早く
一本立ちになるやうに努力
を拂ふことが何よりも必要
である、それはとりも直さ
ず、新設組合の運営の問題
であるが、何れにしても今
にしては産業組合が出来
てゐなかつた町村といふも
のは人的關係から云つても
物的關係から云つても普通
のところではない、従つて
そこに新たに生れた産業組
合の運営はまた余程の困難
性があると見なくてはなら
ない、この點は指導者も覺
悟を決めてかゝらねばなら
ない點である、そこで新設
組合の運営に於て一番大事
な點は何かと云へばそれは
何と云つても人の問題であ
る、人を得ると否とは組合
経営の成否の岐れ路である
と云つても差支へがない、
新設組合は何時までも役場
の御世話になつてゐないで
速かに適當な専任者を決め
ること、専任者は産業組合
と云ふ事の心算である、心
算が出来てはじめて産業組
合と云ふ事は起り出すので
ある、その次ぎの問題は組
合員の教育と全村加入の實
現と云ふことである、由來
産業組合は組合員の理解の
上に作られるところの組織
である、だから何時ならば
講演會や座談會を開いて町
村民の十分なる理解を得て
作られる。

皇軍戦勝三冬品會の第一線に立つ

ツルヤ 豊富陳列 漸新型

電話一四〇

子供帽子 中折帽子

正確 体温計
寒暖計(種各)
計量器指定販賣

平市五丁目角
山野邊藥局

お醤油は ヤマノ

醤油味贈
たひら正宗
醤油食料品

山崎合名會社

電話一〇二七〇
本一〇二七〇
山崎與三郎

臨治生命鑄城代理店

デーリーサービス

日	品目	品目	品目
日	カツレツ	カツレツ	カツレツ
月	カツレツ	カツレツ	カツレツ
火	カツレツ	カツレツ	カツレツ
水	カツレツ	カツレツ	カツレツ
木	カツレツ	カツレツ	カツレツ
金	カツレツ	カツレツ	カツレツ
土	カツレツ	カツレツ	カツレツ
日	カツレツ	カツレツ	カツレツ

特にマルトモの
ランチは...
材料のおまかせを願つて居
る為め其の節々のおいしい
新鮮な物を御座り出ます
ので御座客様からいつも御
好評を戴いて居ります

御来店御座り上りの時も御來
客様用仕出し等願つて御座
段を御示し下さつておまか
せ願へますれば季節の調
材料で美味快進なものを調
理進上出来ましますのでまた
非常に御好評で御座います

RESTAURANT MARUTOMO

堂食モトルマ

電話一〇二三

レストラン

サロ

町田平 二五三電

喫茶。酒場を兼ねた。

内科、小兒科
外科、花柳病科
耳鼻咽喉科
レントゲン科

平市田町 電話五一三番

高久病院

院長 醫學士 高久忠

ス・イン G.H.N 元誌

ゴルフポートワイン

電話一〇二〇

西村屋藥舖 (電3)

大河内

平市播磨小路

整形科外醫院

電話五八八番

三新時代の要求

附屬事業に等外看護婦を特設いたし
皆様の御用向へ身元確かなる婦人を
派出致します。

平市南町 電話三〇七

平看護婦會

御手不足の御家庭
軽い御病人の付添
妊婦産婦の御家庭

根本 婦産科醫院

平市南町

根本 莊次郎
根本 貞雄

電話三四番

(入院隨時)

病室増築、手術室完備

産科 醫學博士

婦人科 五十嵐雄一

平市新川町 電話二六九番

食品店

食品店

食品店

平病院

院長 醫學博士 鈴木定藏

内科 鈴木定藏
小兒科 佐藤幾要司
外科 高橋俊幸
皮膚泌尿科 鈴木定藏
物理療法科 鈴木定藏
薬剤科 吉本孝平

診療時間 毎日午前八時より午後九時まで
夜間診療に便す(急患は此の
時間外)